**レッスン: PYR 73**

**テーマ：Life/現在のパーソナリティー/サイコノエティカル界**

**PYR 73 KE08/L1/10/07**

**私の姉妹・兄弟たち、**

**スピリット、光そして火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性の中に抱かれています。**

**多くのレッスンでLifeとは何かについて見て来ました；Lifeはあらゆるものの原因であり、創造界すらも、そして創造界の中にある全てもLifeをその原因としています。しかしそれは一体どこに存在するのでしょうか？**

**全てはLifeのなかにあります。そしてLifeという時、それはアウタルキーにある絶対存在、あるいは神だけを意味するのではありません。Lifeの最小のスパークですらLifeなのです。なぜなら、**

**大きな神とより小さな神があるわけではありません。神は一つです…それがワンネスのステートにおける絶対存在であろうと、スピリットモナドセルフからの小さなスパークであろうと。そのスパークも神であり、全てがそのスパークの中にあるのです；創造界それ自体そして創造界の中にあるものすらも。**

**Lifeについて多くの知識を与えられました。あなた方がLifeそれ自体から多くを現すことができるように。そのLifeは勿論すべての人間の中にあり、この地球上だけでなく創造界のなかの他の惑星における人間の中にも。**

**創造界はディバインの黙想の結果です…それによってモナドセルフが自己実現を達成することができるように。Lifeとしてのモナドセルフ、Lifeのスパークとして；そしてLifeのスパークと言うとき、ここでは絶対存在のワンネスの中におけるスピリットモナドセルフです。**

**人間とはそれを通じて達成できる存在です、なぜなら人間は人間のイデアを通じたロゴス的現れだからです。まず初めは魂のセルフエピグノシスとして、この現れはアークエンジェルである魂のセルフエピグノシスとして完全にLifeの本質を現しています。そしてそのセルフエピグノシスは自己実現の能力を与えるLifeの質です；これについてもレッスンで述べました。それは聖霊的イデアを通じたアークエンジェルのようにプログラムされたセルフエピグノシスではありません。**

**ですから今や人間は創造界のあらゆる所にいます、多くの惑星に、多くの太陽系、銀河系、超銀河系、その他に。しかし私たちがフォーカスすべきなのは現在のパーソナリティーとしての人間です。現在のパーソナリティーにとって達成すべき重要なことは、ディバインの黙想が何であれ、Lifeからより多くを現して、より高いレベルの気づきを現すことです。そして勿論、そのためには現在のパーソナリティーは自分自身について多くのワークをする必要があります。現在のパーソナリティーの諸体をマスターすることによって何が起きるかというと、骨組みが活性化されるということであり、それは単に現在のパーソナリティーの諸体の骨組みだけでなく、絶対存在のアウタルキーの中における創造界として最大のものを維持する骨組なのです；それは存在、初めは現れとして、そして創造の諸世界全部の存在を与えるセル（＊基本組織）です。**

**Lifeそれ自体をより多く現す現在のパーソナリティーは、この骨組みをより多く活性化し、そうすることによってそれは現在のパーソナリティーの不定形の諸体に形を与え、現在のパーソナリティーは諸体が完全に再形成された時にはその仕事を達成することになります；つまり骨組みが完全に活性化されたと言うことです。**

**Page2**

**まず、初めての転生の時にはこの骨組みはまったく活性化されておらず、現在のパーソナリティーの諸体は完全に不定形です。それらはハートのセンターに現在のパーソナリティーの諸体の2つの球としてあります。しかし、そこにはもう一つの球があり、それは肉体の健康を現すものです。その結果、その現れのレベルの結果として、病気の肉体、その他の肉体的問題が生じます。なぜなら現在のパーソナリティーが肉体の健康状態とつながっているからです。**

**勿論、Lifeの本質をより多く現すようになると、それら3つの諸体のセンターはそれぞれ本来の場所に移動するようになり、前のように３つが同じ位置にあることはなくなります。その結果、現在のパーソナリティーの現れは肉体の健康にそれほど影響を与えなくなります。**

**既に述べましたが、肉体の健康のセンターは下に移動して臍のある太陽神経叢のところに行きます。しかしこれは非常にゆっくりと進み、実際には自己実現の時にその位置に到達します。ノエティカル体のセンターは頭の中へと進み、サイキカル体のセンターはハートに留まります。ですから、場所をハートから移動しない唯一のセンターはサイキカル体のセンターです。**

**ですから3つのセンターが肉体のなかで現在のパーソナリティーを構成します；ハートのセンター、頭のセンター、そして太陽神軽叢のセンターです。これらが現在のパーソナリティーを構成し、真剣な探究者は他のセンターではなく、これら3つを扱うべきです。これら3つのセンターを活性化する唯一の努力は、これらのセンターを活性化するための直接的な努力とみなされているいかなる努力も行わないことです。そして唯一のやるべき努力とは気づきを上げるための努力です；そして皆さんに与えられている全てのエクササイズは、それを行うことによってそれを達成することを目的としたものです。**

**ですから、これらのセンターを直接的に活性化するためのエクササイズはマジックの実践となり、それは真剣な探究者がやるべきものではありません。それらの努力は過去に属するものであり；過去の人間がやってきた唯一の実践、それらはマジックに分類されます；マジックのテクニックはそれがホワイトマジック、ブラックマジック、ブラウンのマジック、またはその他に分類されようとも、マジックです；テクニックは一つであり、私たちはこれを多くのレッスンで述べてきました；動機は異なりますが、しかし誰もその動機についての確信はなく、それは常に同じです、特に現在のパーソナリティーが低次の波動である場合には。**

**低い波動と言う時、そのパーソナリティーはLifeそれ自体から多くを現していないということです。そして、そうである場合、つまり自分の現れをコントロールすることができない場合、それが意味することはそれらのセンターを活性化するためにどんな努力を行っても、それらのセンターは正しく使われることはないでしょう。なぜなら、その結果何であれ、反対のものへのパワーと能力として与えられるからです；つまり反対のものと言う時、悪霊、悪霊的エレメンタル、人間の無知を生み出すもの、を指します。ですから、エレブナの全ての探究者はそのようなものに手を出すべきではありません。**

**皆さんは過去に何回もこのことを聞いていると思います。何であれ皆さんに与えられているもの、もしそれらを正しく使うなら、目の前に素晴らしい地平線が開けて来ることでしょう。しかし、もし適切に使用しない場合には、つまりエレブナから与えられたものを他のシステムとミックスして行う場合、エレブナはその結果に対して責任を持ちません；しかし、何であれ私たちが与えるものに関して私たちは責任を持ちます。なぜならそれは時間を通じてテストされたものだからです。**

**Q：初めての転生の時には3つの体はハートのセンターにあり、それらは球体になっていると言いました。それはサイコノエティカル界においてもサイコノエティカル体が球形だということですか？**

**K：そうです、それらの波動をマスターした人（＊肉体を去った人）にとってそれらは球形です。あなたがそこで一人のパーソナリティー（＊肉体を去ってサイコノエティカル界にいる人）を見る時その人が生み出した波動を見ているわけで、それらの諸体とまったく同じ形をそこに見ることができます。しかし、同時にそのパーソナリティーが自分の形をどのようなものとみなしているかを見ることもできます。それらの形は物質界にその人が残した体と類似した形となっています。**

**ですから実際、墓に残されたあなたの体の形及び現在のパーソナリティーの実際の形はサイコノエティカル体なのです。球体としての真の形には両手、両脚、頭はありません。それは最初は球体で徐々に形を帯びていきます。**

**Page2**

**Q : それではサイコノエティカル界で現れる形はその球体の発展によるのですか？**

**K：そうです、その現在のパーソナリティーの成長によって。球体ではなく。勿論、その現在のパーソナリティーは自分が人間として完全な形になっていないことに気づいていません。なぜなら、その人は以前に知っていた自分の肉体に従って体を創るからです。なぜなら、人が死んで他の世界に行くと、つまりサイコノエティカル界に行くと、自分が死んだ事に気づかないのです。そのパーソナリティーは自分が引き続き物質界にいると考えています。勿論、そこでそのパーソナリティーは全ての人を築きます…愛していた全ての人々、友人達、世界を築きます、つまり町、家その他全て物質界にいた時に知っていた全てをそこに築きます。唯一の違いは、そこでは何であれ生きていた時に嫌いだったもの、何であれ苦痛を与えたものは除外します。つまり、その人は自分のパラダイスに住むのです。なぜなら、そこでそのパーソナリティーが創造するものは全て喜び、幸せ（勿論、そのパーソナリティーが幸せだと理解する状態ですが）などです。そうなっています、なぜならそれは新たな転生に向けた準備だからです。**

**実際、それがサイコノエティカル界なのです；生きていた時にそのパーソナリティーに痛み、苦しみを与えたもの、それらを背後にすることができるのです、そういったものは持ち込みません。しかし勿論、誰かにとっての天国、パラダイスは他の人にとっては地獄となるかもしれません。それは各人の気づきのレベルによります；前に述べたように、無数のサイコノエティカル界があります…創造界におけるパーソナリティーの数と同じだけのサイコノエティカル界があります。ある瞬間にその人の不定形の体がどれだけ再形成されているかによってセンターは上下します。そして再形成され、形がより整った体はその人の気づきのレベルを意味します。**

**どれぐらいの波動、バイブレーションのレベルがあるでしょうか？無数にあり、特定の数というものは言えません；しかし前に述べたように、7つの層があり、各層には7つの亜層があります；全部で波動としては49のサイコノエティカルな世界があります、Lifeの創造界としての。しかし、それらの波動の世界には無数の人が創りだした世界があり、それは現在のパーソナリティーの気づきのレベルによるものです。また私たちはレッスンのなかで潜在的可能性のサイクルの中にはどれだけの層と亜層があるかも述べました。私たちはそれについて見て来ましたが、勿論将来またそれに関してお話します。**

**Q：創造界の骨組みその他についてもう少し話してくれますか？**

**K：サイコノエティカル体の骨組みもまた最大および最小のためのものです。最大および最小と言う時、物質の原子ですらこの同じ骨組があるのです。それゆえに古代ギリシャでは次にように言ったのです…“自分自身を知るステートに到達する時（つまりあなたの身体及び現在のパーソナリティー全体を知るステートに到達したとき）、それは創造界それ自体を知るポイントに到達したのと同じである”と。哲学の学校の外には、「人間が自分自身を知る時、あなたは宇宙を知るであろう」と書かれていました。**

**ですから骨組み、それは生命の木ですが、それは最大つまり創造界全体のものであり、同時に最小のものでもあるのです。そして、Lifeが創造界においてその本質を完全に現わすためには、完全に活性化される必要がある、と前に述べました。そしてこの骨組みが完全に活性化された時、私たちは体として天人の体を持つのです。つまり私たちは元型としての体と同じ体を持つのです。そしてこの元型は天人、イデアの元型のそれです。**

**ですから、“この骨組みにワークして、最終的に不定形の諸体を再形成し、天人の体の形と同一にならねばならない”、と私たちが言うのはそのような意味です。そして形としては、それは私たちの内側にあって現在のパーソナリティーそれ自身を活性化するLifeのスパークの体と同一です。同時にそれは自己実現した現在のパーソナリティーが自己実現した時に使う高次ノエティカル体と同一です。そして自己実現した時、人間のその現れは（なぜならそのステートではもはや現在のパーソナリティーではなく、人間のイデアを通じたLifeの現れなので）3つではなく1つのセンターだけがあります。頭でもハートでも太陽神経叢、肉体でもなく、それはLifeの現れだけとなり、純粋なアガピに輝く太陽としてのハートのセンターだけがあるのです。アガピと言う時、アガピとはLifeの本質、Lifeそれ自体です。**

**Page4**

**Q：3次元ではこの世界は関係性からできています。もし友情、ビジネスまたは何であれ2人または3人の人が人間関係を持つとき、同じ人間関係、つながりがサイコノエティカル界でも**

**あるのでしょうか？**

**K：多くの人は何であれこの世で起きていることは、サイコノエティカルの諸世界で起きていることの影である、と信じています。私はそうは言いません。なぜなら、そこではポジティブなことだけが存在しているからです。そこではあなたは誰をも害することができません、自分自身をも傷つけることはできません。ですから人々のそのような信念は本当ではありません。何であれこの世で起きていることはより高い波動の世界で起きていることの影である…それは間違っています。**

**Q：そこでは何が起きているのですか？サイコノエティカルなモナドの相互関係なのですか？**

**K：前に説明しましたが、あなたの夢のなかで起きていること、それはサイコノエティカル界だけに属するものと見ることができます。あなたが創造することはリアルですが、実際それはこの物理的世界の波動よりもリアルなのです。そこではあなたはより多くの能力と可能性を現しています、あなたは真の五感を使っていますが、生憎あなたはそれを意識的には使いません。あなたはそれらの波動の法則を知らないのです…それらの世界の波動と関係している法則を。私たちはこの物質界での法則を知っていますが、しかし向こうの世界であなたは真の五感を意識的には使いません。それゆえに、あなたはある瞬間にはある出来事を創造し､次の瞬間にはそれらを変えるのです。なぜなら、あなたは出来事の動きをコントロールしないからです、あなたは思考をコントロールしません。なぜなら、創造するのはあなたの思考だからです。あなたの思考はあなたの創造エーテルを使用しています；動きであれ、どんな創造であれ、それらは思考の結果です、そしてその思考は勿論同時にあなたの気持に影響されます。**

**勿論、夢は現在のパーソナリティーが物質を後にしていわゆる肉体的死という現象（それは本当は死ではありませんが）を通してサイコノエティカル界に移動するステートとは完全に違いますが。実際に死ぬ時、それは赤ん坊として生まれて来る時です。この物質界に生まれて来るということは実際、サイコノエティカル界よりもずっと多くの制限があります。**

**勿論、サイコノエティカル界には唯一の目的があります、このプロセス、ディバインの黙想がその仕事を達成するという目的が。それはモナドセルフスピリットの自己実現です。それがどのように達成されるかについては、何度も話してきました。**

**いずれにしても私のアドバイスは規則的に多くのエクササイズをすることです、古いエクササイズも。なぜなら各エクササイズには目的があります。それは助けになります。これらのエクササイズのどれ一つとしてマジック、魔術とみなされるものはありません。これら全てのエクササイズには皆一つの目的だけがあります…Lifeそれ自体からより多くを現すのを助けること、その助けによって、あなた方が毎日の生活において同胞の人間たちのことをより多く心に掛けるということです。**

**そうです、英知は全ての人の中にあります；絶対英知はあなたの中にあります。しかしそれを現そうとする必要があります。なぜなら、絶対英知があなたの中にあっても、あなたはそれを現しません。**

**なぜなら現在のパーソナリティーとしてあなたはLifeのスパークによって活性化されていますが、あなたはアイコンに過ぎず、まだ本当のそれを現していません。**

**あなたはそのスパークと一つになっていないからです。現在のパーソナリティーは影であり、現れとしてLifeによって活性化されましたが、**

**達成すべきことは現在のパーソナリティーの現れが内側にあるスパークと一つになることです；Lifeは私たちの内側にあるのですが、私たちはそれを現していないのです。**

**ですから、実際、Soul（魂）、内側にあるLifeのスパークは今でも神なのです、そして何であれ現在のパーソナリティーとしての私たちの行動について責任があるのはSoulではありません…多くの教会はそのようにみなしていますが。“罪”を犯すのはSoulではありません。神は無知のなかに取り込まれることはありません。あなた方はそのことを認識すべきです。**

**もし誰かが何か悪いことをすると、多くの人々は“彼のSoulが罰せられるだろう”と言いますが、Soulにはそのようなことはありえません。魂のセルフエピグノシス、内側にあるLifeのスパークは神であり、その神の中には創造界の全ての法則があるのです。最内奥のセルフである私たちのスピリットは神、絶対存在のワンネスのなかにあります。**

**私たちは現在のパーソナリティーとして思考・行動の仕方に、思考と感情に責任があります。**

**Page5**

**ディバインの黙想の結果として、モナドの輝きが創造界の中に入ります…人間のイデアを通じて、つまり今や魂のセルフエピグノシスとなった人間のイデアを通じて。入ると言いましたが、それは活動、動きがディバインの黙想のなかで行われるということです；なぜなら、説明したように、創造界はディバインの黙想の結果として創られたものだからです；それはLifeの特質である動き・振動・波動であるディバインの黙想の結果として創られるものだからです。**

**ですから、絶対Lifeはそれ自体のなかに動きがあり、その動き、活動の結果として創造界があります。そして何であれ創造界のなかで現れているものはディバインの黙想によるものです。ですからLifeのスパーク、それはLifeですが、それは黙想するスピリットセルフからのスパークであり、それが実際に私たちなのです。ですから私たちはディバインの黙想の結果であり、私たちはこのディバインの黙想の粒子なのです。**

**そしてレッスンで述べたように、神には神自身のために、より良くなるために必要なものは何もありません。勿論そんなものはありません。恩恵はワンネスのステートあるいはアウタルキーのステートにある神のためのものではなく、ディバインの黙想のためです。しかし何であれ達成されるものは皆この運動のため、つまりこの運動の内側にあるもののため、そして実際、人類のためです。自己実現したスピリットモナドセルフが多ければ多いほど、それだけ人間はこの実存の波動のなかで多くの助けを与えられるのです。“多い”と言いましたが、絶対存在のワンネスの多重性においては数というものはありません。神は一つですが多重性のステートにあります；Lifeのスパークですら多重性の能力があります。それらについてはすでに述べました。**

**Q：これは友人たちと話していた時に出てきた疑問ですが、人間にとって子供が欲しいと思わないことは悪いことでしょうか？**

**K：もしそれが責任を避けるためなら、その理由はエゴイズムとなります。勿論、私たちはジャッジすることはできません。なぜなら、そこには多くの要素が関係するからです。一般化して言うことはできません。**

**私が答えられる唯一のやり方は、ディバインの計画のなかには子供を持つということがあります。私に言えることはそれだけです；私にとってはそれが悪いか良いかのジャッジはできません。**

**Q：それでは悪い世界だから子供を産むことは良くないという考えは､受け入れられませんか？これは間違った考え方かもしれませんが。**

**K：それは受け入れられません；良い世界か悪い世界かをジャッジする私たちとは誰でしょうか。結局、私たちは神のなかにいます。そして神が許すことは良いことのためです。私たちは誰をジャッジするのでしょうか？私たちが悪とみなすことすら、最終的には良いことがあります。なぜなら、**

**私たちがどんな経験をするにしても、それはレッスンであり、それは現在のパーソナリティーを少しずつ助け、Lifeそれ自体をもっと現すことができるようにします。**

**結局、私たちはほとんど動物的な状態からスタートし、この世界において自分の肉体を維持するためにお互いを食べたことさえあります。私たちは本能的意識のセルフエピグノシスと共に自分を現してきました。それは最初の頃は動物の本能とあまり違いがなかったのです、そして徐々にLifeからより多くを現すようになりました。それについては説明しました。潜在的可能性の1番目のサイクルでは私たちは動物界に非常に近い状態でした。しかし私たちには内側に可能性と能力があり、二元性があり、内側には私たちを活性化したLifeのスパークがあります。私たちの誰もが内側にLifeがあります；動物を活性化する唯一のものはLifeの息吹です。Lifeのスパークは動物のなかにはありません。動物は創造物であり、アークエンジェル的な創造物です。**

**アークエンジェルとしての自己実現した人間はどのような種の動物でも創造することができ、地球上には存在しない動物でも創造することができ、それにLifeの息吹を与えるのです。そしてあなた方はそのような動物が生きていて、それを創造した者と関係しているのを見るでしょう。これが実際、Lifeの他の王国です。創造物であり、現れではありません。**

**人間はLifeの現れであり、創造物でありません。**

**人間は聖霊的に築かれ創造されたのではありません。**

**人間にとって、つまり現在のパーソナリティーにとって聖霊的に築かれた唯一のものは肉体です**

**；サイコノエティカル体はロゴス的現れであり、それはLifeのスパークによってダイレクトに活性化されたものです。**

**そのLifeのスパークは現在のパーソナリティーとしての現れの内側にあり、**

**その現れは誕生したものであり、創造されたものではありません。**

**Page6**

 **肉体は聖霊的プロセスとして女性の子宮のなかで創造され、築かれたものですが、**

**その肉体を使う現れ、**

**つまり現在のパーソナリティーは創造界の大いなる母、つまりthe Widest of Heavens（最も広大なヘブン）、聖母を通じて生まれたものです。**

**彼女だけがLifeの現れを生むことができるのです。**

**これについては残念なことにキリスト教の教会ですら認識していません。彼等はそれについて知らないのです。彼等は自分達の気づきのレベルからLifeにアプローチしており、同じことがロゴスあるいはイエスキリストロゴスに関しても言えます。**

**Q：私は聖フランシスに魅せられており、彼の祈りは非常に素晴らしいと思います。しかし、もしそのパーソナリティーがかなり昔に生きていたのなら、助けとしての生命の木は何なのでしょうか、聖フランシスはこれについてどうしたでしょうか？**

**K：このように言わせてください。私は聖フランシスまたは聖者となった誰に関しても、ジャッジしたり、何故なのかと言うつもりはありません。次のように言います、もし私たち人間が他の人間を聖者と呼ぶ場合；聖者であることを誰にも知られなかった聖者達もいたはずです。**

**私たちにとって神に向けた最も重要な祈りは言葉で行われるものではなく、他の同胞の人間達に対して自分が日常生活においてどのように機能したか、それが神に向けた最も重要な祈りです。なぜなら、他の人々に向けた行為は、神に向けた行為であるからです。**

**なぜなら他の人間達の内側に神が存在するからです…その現在のパーソナリティーの現れがどのようなものであれ。もし私たちがそれを達成するなら、**

**その人がどのような現れであろうともその人を神とみなすなら、神として接するなら、その時には私たちは多くのことを達成したことになります。**

**その時、この実存の波動のなかで、あるいは実存の諸世界において、最も重要であるとみなされている究極的な達成に到達したことになります。**

**ですから確かに祈りは現在のパーソナリティーにとって助けになります；祈りとはそれをやることによって神からの特典が与えられるというようなものではありません。多くの人々が祈ったり、または教会に通っていますが、しかしそれらの人々の日常生活での行動が、彼等が他人に見せようとしている行為と合致していないのです。**

**この祈りのエッセンスは素晴らしいですが、しかしそのエッセンスが日常生活において実践されるべきです。実践、それが重要なことです。同じ事がここでのレッスンにおいても言えます。与えられた知識に基づいて人々を導き、そしてエクササイズと共に毎日の生活で実践するのです。それによって達成されるのは神とのつながりです。なぜなら、何であれ気づきの上昇の助けになることを現せば現すほど、実際私たちは自分の内側の神とより多くつながるからです。これが重要なことです。**

**聖者と呼ばれた多くの人間は確かに人類に多くの助けを与えました、もし何であれ彼等が残したものを私たちが実践するなら。そしていいですか、聖者と呼ばれる人々は私たちのまわりにいるのです。なぜなら、そのような人はただの一介の人として生きているからです。地球上において自己実現した人間ですらそのために地球を去ることでしょう。彼等は人々を助けるために転生のサイクルに留まり、他の同胞の人間達のために十字架にかかるのです。私たちはこのことを認識すべきです。**

**実際、全ての人は聖者です；そして聖者と言う時、時には一般的な人間以下の人もいます。なぜなら神は私たちの内側にいるからです。ですから重要なことはアガピ、Life、絶対真理を現すことです。絶対真理とはLifeであり、アガピです。そして私たちが説明したLifeは一つであり、アガピの多くのレベルがあるわけではありません。この波動のなか、実存の諸世界におけるアガピのレベルはエロティズムです。それについては前に話しました。アガピは一つであり、アガピはLifeです。**

**EREVNA PYR 73 KE08/L1/1008**